

第 35 回日本乳癌画像研究会

参加および演題募集のご案内

このたび、第 35 回日本乳癌画像研究会を下記のとおり開催いたします。
本研究会では、乳癌画像診断に携わる医師、診療放射線技師、臨床検査技師を中心に、
日常診療や研究の現場で感じる「わからない」を出発点として、
学術的な視点と臨床に役立つ実践的な内容の両面から、
初心者から経験豊富な専門家まで、幅広く学び合える場を目指しています。

多数の皆さまのご参加ならびに演題のご応募を、心よりお待ち申し上げます。

<開催概要>

会議名称: 第 35 回日本乳癌画像研究会

会 期: 2026 年 2 月 14 日(土)・15 日(日)

会 場: アクリエひめじ <https://www.himeji-ccc.jp/access.html#access>

テ ー マ:

『わからない』から始まる学びと楽しみ

当番世話人:

白岩 美咲

(独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター 放射線診断科)

<プログラム(予定)>

- ・ シンポジウム 1

新しい乳癌取扱い規約をどう活かす? — 改訂ポイントと現場の今、そしてこれから

- ・ シンポジウム 2

やっと出た? まだ出ない? BI-RADS 第 6 版

- ・ シンポジウム 3
乳房画像診断 AI の現在地と未来
 - ・ ワークショップ 1
トモシンセシス、活用できていますか？
 - ・ ワークショップ 2
マンモグラフィ・乳房超音波 ～技術の伝承～
 - ・ 教育ワークショップ
マンモグラフィ ポジショニング ～うまくいかなかった画像から学ぶ～
 - ・ 特別講義シリーズ
匠の講義を聴いてみよう
 - ・ 国際委員会企画
 - ・ 症例カンファレンス
-

＜演題募集要項＞

演題登録期間：

2025 年 10 月 30 日(木)～ 12 月 26 日(金)正午

募集内容：

【公募・一部指定】

- ・ 乳房画像診断 AI の現在地と未来
- ・ 新しい乳癌取り扱い規約をどう活かす？
— 改訂ポイントと現場の今、そしてこれから
- ・ トモシンセシス、活用できていますか？
- ・ マンモグラフィ・乳房超音波 ～技術の伝承～

【一般演題】

※一般演題としてご登録いただいた演題が、主題プログラムに採択される場合があります。

演題登録の詳細につきましては、

第 35 回日本乳癌画像研究会ホームページをご覧ください。

<https://med-gakkai.jp/jsbci35/endai/>

ご不明な点等がございましたら、
研究会運営事務局までご連絡いただけますと幸いです。

皆さまのご参加・ご応募を、心よりお待ちしております。